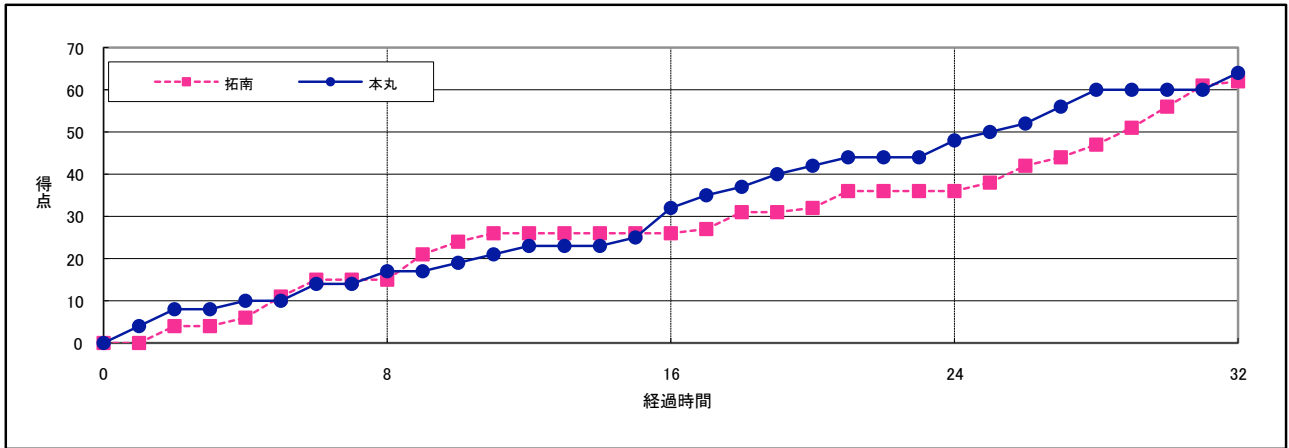


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 男子 Aコート第2試合 予選リーグE			
日時	8月20日(木)		10:50 ~	
会場	鹿児島アリーナ			
結果	拓南	62	64	本丸 新潟
審判	主審 森田 将史		副審 比嘉 亮太	



【個人トータル表】

×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

拓南								
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則	
4	酒井 奨	×	9	0	4	1	0	
5	大原 俊祐							
6	高村 和希	×	18	0	8	2	1	
7	苗田 剛汰	×	14	4	1	0	5	
8	山内 爽	×	14	0	4	6	3	
9	岡崎 佑生	/	0	0	0	0	0	
10	吉田 理央	/	0	0	0	0	0	
11	合田 零							
12	北井 林太郎							
13	武智 和樹							
14	渡部 裕地	×	7	0	3	1	3	
15	高岡 祐士							
16	相原 流							
17	宮内 和真							
18	水上 良平							
監	尾下 桂子							
C	吉田 知之							
合計			62	4	20	10	12	

本丸								
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則	
4	本間 翔太郎	×	17	1	6	2	1	
5	佐々木 和也	×	5	0	2	1	4	
6	羽田 和寛	×	4	0	2	0	4	
7	富樫 拓生							
8	笹山 泰等	×	4	0	2	0	3	
9	若桑 裕太							
10	渡邊 蓮							
11	花野 文昭	/	17	0	8	1	1	
12	田邊 勇太							
13	奥村 駿							
14	佐藤 駿							
15	小島 喜睦							
16	三枝 幹司	/	0	0	0	0	2	
17	築井 良知	/	6	0	3	0	2	
18	金子 大希	×	11	1	4	0	4	
監	富樫 英樹							
C	佐藤 直彦							
合計			64	2	27	4	21	

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、立ち上がり本丸は#18、#4が続けてミドルシュートを決める。一方、拓南はシュートがなかなか決まらず、開始2分でようやく#7がミドルシュートを決め初得点をあげる。その後両チームともリズムよく得点を重ね、拓南15-17本丸で第1Pを終える。

第2P、拓南は立ち上がり#8が2連続でミドルシュートを決め逆転に成功すると、さらに#4のファーストブレイク、#7の3Pシュートで開始2分で9得点をあげ、拓南が7点リードする。一方の本丸は開始1分30秒ノーゴールが続くが、#8がミドルシュートを決めると、#18、#11、#4で一気に6連続得点をあげ、逆転に成功する。拓南は残り56秒タイムアウトをとり流れを変えようとするが、本丸が主導権を離さず、#4の3Pシュート、ドライブインで得点を重ね、拓南26-32本丸と、本丸リードで前半を終える。

第3P、本丸は#4の3Pシュート、拓南は#8のドライブインでそれぞれ後半初得点をあげる。その後、拓南は#8のドライブインから相手のファウルを誘いフリースローを2本決める。しかし本丸が前半のリズムを保持し、#4、#5、#17を中心に得点を重ね、拓南36-48本丸と本丸がリードを12点に広げ、第3Pを終える。

第4P開始1分、拓南#6がゴール下のシュートを決める。本丸は#18、#4、#11を中心に得点を重ね、リードをこの試合最大17点に広げる。一方の拓南は#4、#14、#6が積極的にオフェンスを仕掛け、相手のファウルを誘い、差をじりじりと縮めていく。本丸は残り5分から3分間ノーゴールが続き苦しい展開となる。勢いに乗る拓南は残り2分、#7が3Pシュートを2連続で決め、差を1点に縮めると、残り1分、#4がミドルシュートを決め、ついに逆転に成功する。しかし本丸は#6が合わせのプレーで得点をあげ、再逆転する。本丸1点リードで迎えた残り30秒、拓南は#8がドライブインから相手のファウルを誘い、フリースローを1本決め、同点とする。残り15秒、本丸#11がミドルシュートを決め、タイムアップ。拓南62-64本丸で本丸が勝利を収めた。